

VoiceNavi Editor 5

取扱説明書

01 版

新規作成 (VoiceNavi Editor 3 用からリニューアル作成)

はじめに

この度は、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書は、お使いになるときの注意事項や、使い方を記載しています。 お使いになる前に必ず本書をお読みください。

本書はお読みになった後も大切に保管していただければ、トラブル発生時に参照いただきトラブルの円滑な解決に役立ててください。

●三共電子株式会社は本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。 また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含み）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

●本書の内容は予告なしに変更することがあります。

●本書の内容の一部または全部を無断で複写、転載することは禁じられています。

●本書の内容は万全を期して作成いたしましたが、万一不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。

商標について

本書に記載のソフトウェア名、製品名は、開発元各社の商標または登録商標です。

使用上の注意

著作権法に関するご注意



音源の著作権について

- 著作権の有る音源を利用する際は、音源の著作権をよく確認して利用ください。
- テレビ・ラジオなどの放送を録音して利用するのは著作権侵害となる恐れがあります。

お客様が使用した音源データが著作権法などの法律に違反して訴訟などの事態が発生しても弊社は一切関知いたしません。

騒音公害

- 音量にかかわらず周囲の人が不快に感じる場合は騒音公害となります。

騒音規制については各自治体ごとに定められている場合があり、設置する地域ごとによく確認してください。

お客様の使用方法で騒音規制法などの法律・条令に違反して訴訟などの事態が発生しても弊社は一切関知いたしません。

目 次

はじめに	1
使用上の注意	1
著作権法に関するご注意	1
目 次	2
概要	3
動作環境	3
音源データファイル	4
組立再生・リピート再生について	5
データ作成の流れ	6
インストール	7
操作説明	9
機種選択メニュー画面	9
データ編集画面【基本モード】	10
データ編集画面【拡張モード】	11
Sound 登録画面	12
変換ツール画面	13
設定画面	14
ファイル読込画面	15
データ初期化画面	15
カードデータ作成画面	16
印刷画面	17
フォルダとファイルについて	18
音源データの作成について	19
改版履歴	20

概要

VoiceNavi Editor 5 は弊社の音声録再ユニット・ボードの各種 VoiceNavi 製品の音源データファイルを作成する無償ソフトウェアです。 Microsoft Windows®PC 上で動作します。(Windows 7, 8, 8.1, 10 に対応)

本ソフトの主な機能は、音声・音源データを登録し、アドレス（接点端子）への音源ファイルの紐づけ、組立再生とリピート再生回数の編集を行うものです。 本ソフトにより、音源ファイル登録・アドレス（接点・CH）との紐づけ、組立リピート再生を登録した WPJ ファイルを出力しますので、音源データファイル（WAV・MP3）と WPJ ファイルと一緒に記録メディアに保存して VoiceNavi の音声ボード・音声ユニットを起動すると、登録された紐づけ情報、組立再生情報に従って製品が動作します。

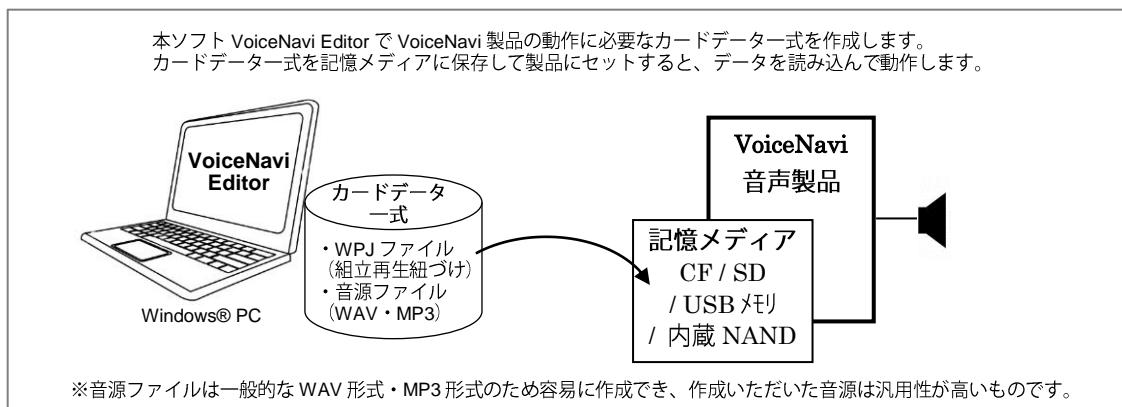
VoiceNavi 製品の WAV ファイル対応がモノラル専用ため、ステレオ形式の WAV ファイルをモノラル形式に変換する機能があります。また、無音 WAV ファイル作成機能があります。

従来 iMAX-F シリーズ用データの作成は iMAX Editor を使用していましたが、VoiceNavi Editor 5 では iMAX シリーズのデータを作成できるようになりました。 tMAX-F シリーズ用は従来の tMAX Editor を引き続きご利用ください。

VoiceNavi Editor 5 は、MP3 ファイル再生に対応した製品用の音源データファイルの登録に対応しました。
また、英語表示に切り替えることができるようになりました。

※注意

本ソフト自体には録音やテキスト音声合成、音声データの編集機能はありません。予め用意された音源データファイル（WAV・MP3）を登録するのみです。



動作環境

PC	Windows®7, 8, 8.1, 10 (32bit/64bit) Home / Pro が動作する PC。 (※MAC 非対応) Microsoft .NET Framework 4.0 上で動作します。		
メモリ	上記 OS の動作要件を満たすメモリ容量。		
ハードディスク	プログラムインストール用として 100MB 程度の空き領域。 別途、登録する音源データファイルとカードデーター式を出力するための容量が必要です。 1GB 以上の空き領域がある環境での作業を推奨します。		
外部記憶メディア PC 接続アダプタ	ご利用になる VoiceNavi 製品で使用する記憶メディアを PC に接続するためのアダプタが必要です。 市販の USB メディアアダプタ等をご用意ください。		
CF カード	WRX シリーズ、WAV-5 シリーズ	~2GB (FAT/FAT16 のみ)	
SD / TF / MMC	WAV-4A シリーズ、WAV-4F シリーズ	~2GB (FAT/FAT16 のみ)	
USB メモリ	WAV-4M シリーズ(128MB NAND)	~32GB (FAT/FAT16/FAT32)	

※FAT と FAT16 は同一のフォーマットです。

音源データファイル

WAV 形式ファイル

製品	対応サンプリングモード
WRX800C WRX シリーズ iMAX-F シリーズ WAV-5 シリーズ	44.1kHz, 32kHz, 22.05kHz, 16kHz, 11.025kHz, 8kHz 16/8bit モノラル
WAV-4A シリーズ	32kHz, 22.05kHz, 16kHz, 11.025kHz, 8kHz 16/8bit モノラル
WAV-4F シリーズ	44.1kHz, 22.05kHz, 11.025kHz 16/8bit モノラル
WAV-4M シリーズ	48kHz, 44.1kHz, 32kHz, 22.05kHz, 16kHz, 11.025kHz, 8kHz 16/8bit モノラル

※WAV 形式ファイルはモノラルにのみ対応しています。

※一部の録音編集ソフトでは TAG 情報を付加して WAV ファイルを生成するソフトがあり、TAG 情報が付いていると VoiceNavi 製品で再生できない（データの前に TAG 情報）、再生が正しく終了しない（データの後ろに TAG 情報）場合があります。この場合は録音編集ソフトで TAG 情報を付加しない設定にしたり、削除してください。

MP3 形式ファイル

製品	対応サンプリングモード
WAV-4M シリーズ	48kHz, 44.1kHz, 32kHz 16bit モノラル／ステレオ(Lch のみ再生) 96kbps ~ 320kbps CBR/VBR 対応

※PC で再生できる MP3 ファイルでも VoiceNavi 製品で再生できない場合があります。

（ファイル拡張子は MP3 でも圧縮形式が MPEG1 Layer3 以外の場合など。）

ファイルサイズ制限

製品	1 音源ファイルのサイズ制限
WRX800C WRX シリーズ iMAX-F シリーズ WAV-5 シリーズ	使用する記録メディアのフォーマット後の空き容量 ※サポートしている記録メディアの最大容量は 2GB までです。
WAV-4A シリーズ	
WAV-4F シリーズ	
WAV-4M シリーズ	USB メモリを使用時 4GB 内蔵 NAND FLASH メモリの物理容量は 128MB のため 124MB 程度となります。

ファイル名形式

製品	対応ファイル名形式
VoiceNavi 全製品	8.3 形式 ファイル名：半角 8 文字 + 拡張子：半角 3 文字 (.WAV または .MP3) 半角アルファベット英数文字のみ。（全角、記号、スペースは使用できません） ※アンダースコア「_」は使用できます。

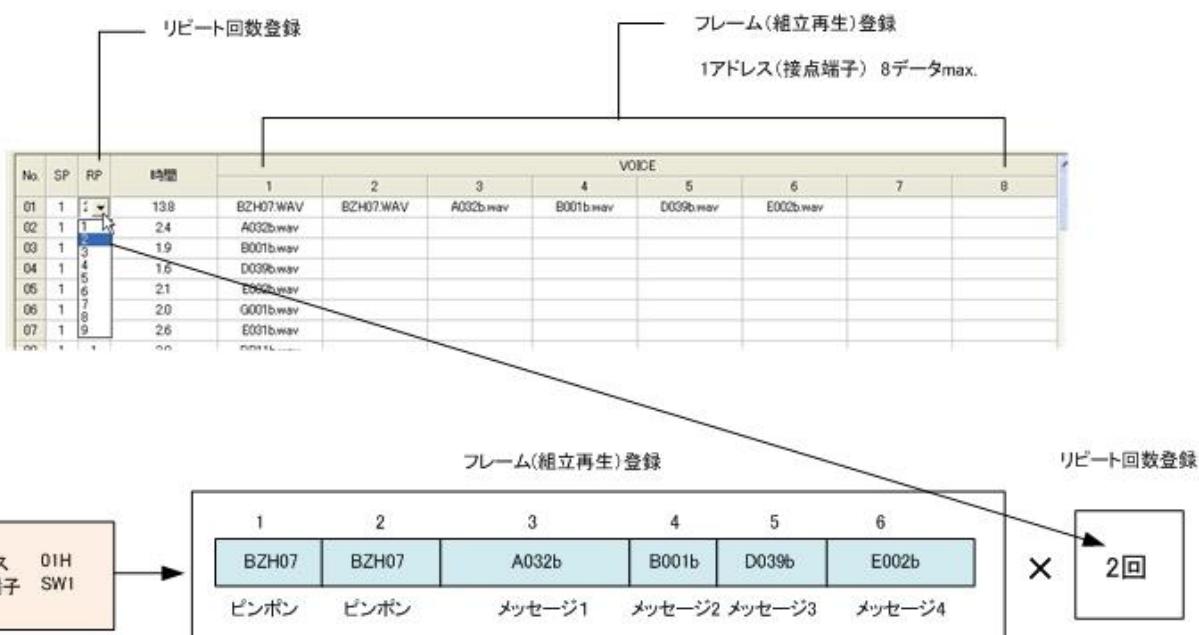
※ファイル名に全角文字は使用できません。

※ロングファイル名は使用できません。

組立再生・リピート再生について

VoiceNavi Editor で一つのアドレス（接点・CH）に、最大8個の音源ファイルを登録でき、登録されたアドレスの再生起動によって、複数登録された音源ファイルが順次再生されます。これを組立再生といいます。また、リピート機能もあり、ひとつのアドレス（接点・CH）の再生起動が1回入力されると、指定された回数を繰り返し再生します。組立再生×リピート再生のように組み合わせて利用できます。

データ編集画面での組立再生・リピート再生登録方法



組立再生とリピート再生の動作例

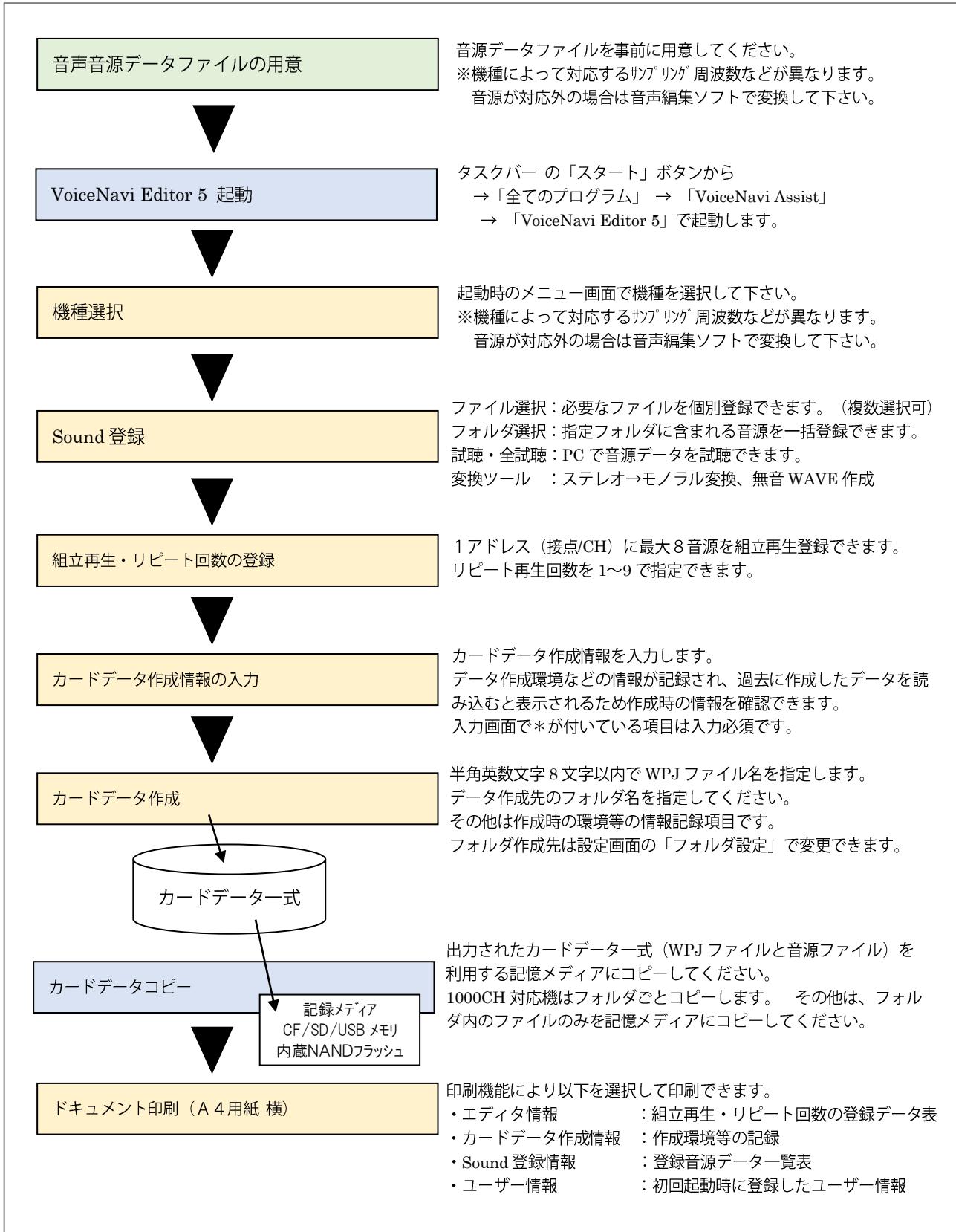
CH	ファイル1	ファイル2	ファイル3	ファイル4	ファイル5	ファイル6	ファイル7	ファイル8	リピート回数
CH1	A								1
CH2	A	B							1
CH3	A								2
CH4	A	B	C	D	E	F	G	H	9

再生起動	再生内容
CH1	A → [終了]
CH2	A→B → [終了]
CH3	{A}×2回 → [終了]
CH4	{A→B→C→D→E→F→G→H}×9回 → [終了]

データ作成の流れ

新規にデータ作成する場合は以下の手順で作成します。

他のソフトウェアを使用 Windows 操作 VoiceNavi Editor 操作



インストール

ソフトウェアとKEY CODE入手

本ソフト VoiceNavi Editor は弊社の[ホームページ](https://www.voicenavi.co.jp) (<https://www.voicenavi.co.jp>) から無償ダウンロードできます。

編集データを保存するには KEY CODE を登録する必要があります。 KEY CODE は弊社ホームページの KEYCODE 請求から利用者登録を行うと即座にメールで通知されますので正しいメールアドレスを入力してください。 メールが届かない場合、KEYCODE 請求時のメールアドレスが正しいか、弊社からの KEYCODE 通知メールが迷惑メールフォルダに振り分けられていないかご確認ください。

インストール

ダウンロードした ZIP ファイルを展開すると Setup.exe と VoiceNavi setup jp.msi の 2 つのファイルがあります。

そのうちの Setup.exe を実行することで VoiceNavi Editor のインストールが始まります。 画面に従ってインストールを完了させてください。

このときセキュリティ警告が表示される場合があります。弊社の HP からご自信でダウンロードしたもの、製品に付属している記録メディアに保存されていたものなど、インストーラファイルの入手先が信頼できる場合に実行してください。

本ソフトは Microsoft .NET Framework 4 上で動作します。 .NET Framework 4 がインストールされていない場合は、本ソフトのインストール時に.NET Framework 4 のインストールを求められる場合があります。 表示された指示に従って .NET Framework 4 をインストールしてください。

アンインストールする場合は「コントロールパネル」から「プログラムと機能」を開き、VoiceNaviEditor5 を選択して右クリックで表示される「アンインストール」を操作してください。

起動方法

タスクバーの「スタート」→「全てのプログラム」→「VoiceNavi Assist」→「VoiceNavi Editor5」から起動します。

ユーザー情報登録（初回起動時）

初回起動時に使用許諾確認が行われます。使用条件をご確認いただき許諾いただける場合は「同意する」を選択するとユーザー情報入力画面となります。 ここで入力されたユーザー情報を本ソフトが弊社や他社にデータ送信することはありません。 入力されたユーザー情報は本ソフトが出力するデータファイルに備考情報として出力されます。作成者の情報として記録させたい項目は正しく入力してください。

KEY CODE 登録

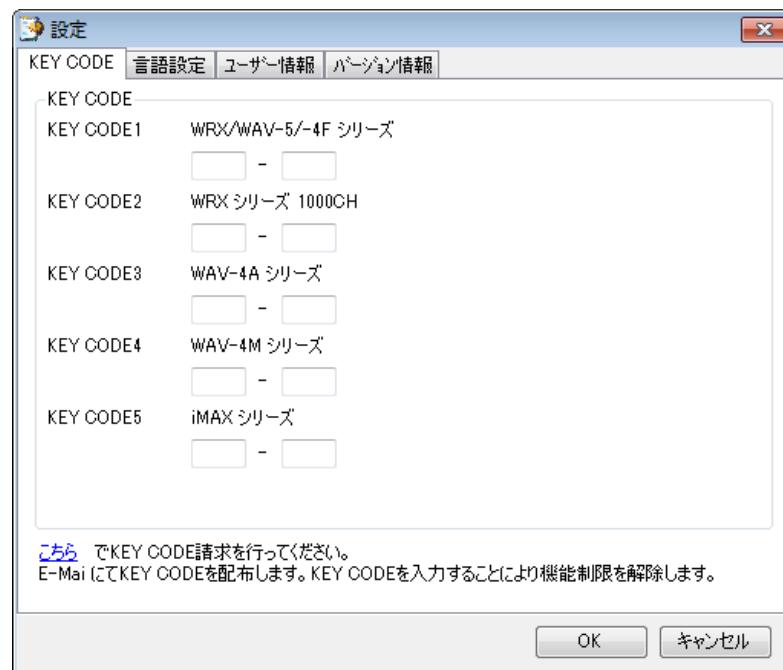
ユーザー登録が行われると、次回以降は機種選択画面が開きます。



「試用版」の記載がある機種は、KEY CODE が登録されていない機種であることを示します。

試用版のままでは本ソフトで編集したデータの保存ができないため、弊社 HP の KEYCODE 請求のページからご利用になる機種の KEY CODE を請求して入手してください。 KEY CODE はメールですぐに通知されます。

上の機種選択メニュー画面で「設定」ボタンを押すと各機種ごとの KEY CODE を入力することができます。

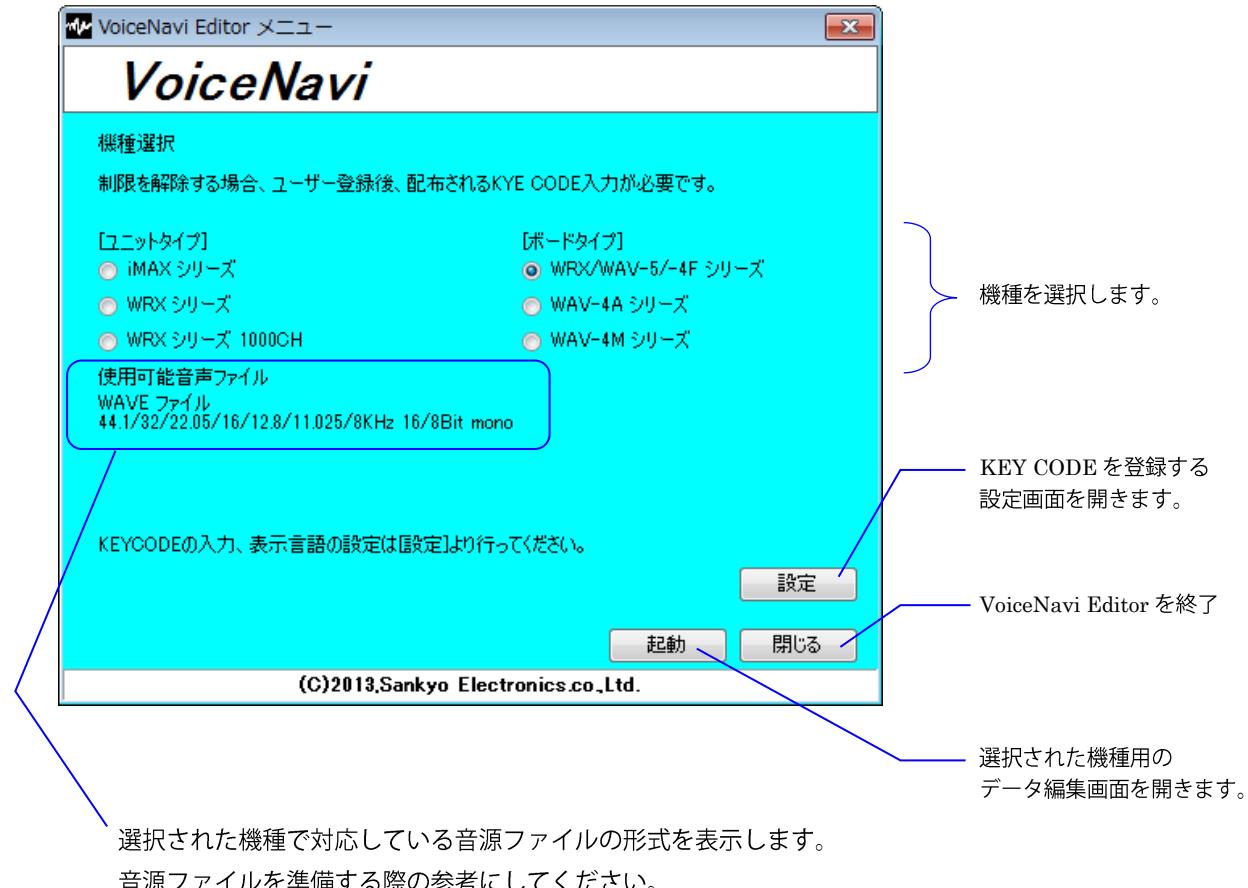


メールで通知された KEY CODE を入力して「OK」を押してください。

操作説明

機種選択メニュー画面

VoiceNavi Editor 5 を起動すると最初に表示される画面です。



データ編集画面【基本モード】

機種選択後に最初に表示されるデータ編集画面です。

ファイル読み込み：

過去に作成したデータを読み込みます。

データ初期化：
編集中データを破棄します。

Sound 登録：音源ファイル登録画面を開きます。

設定：設定画面を開きます。

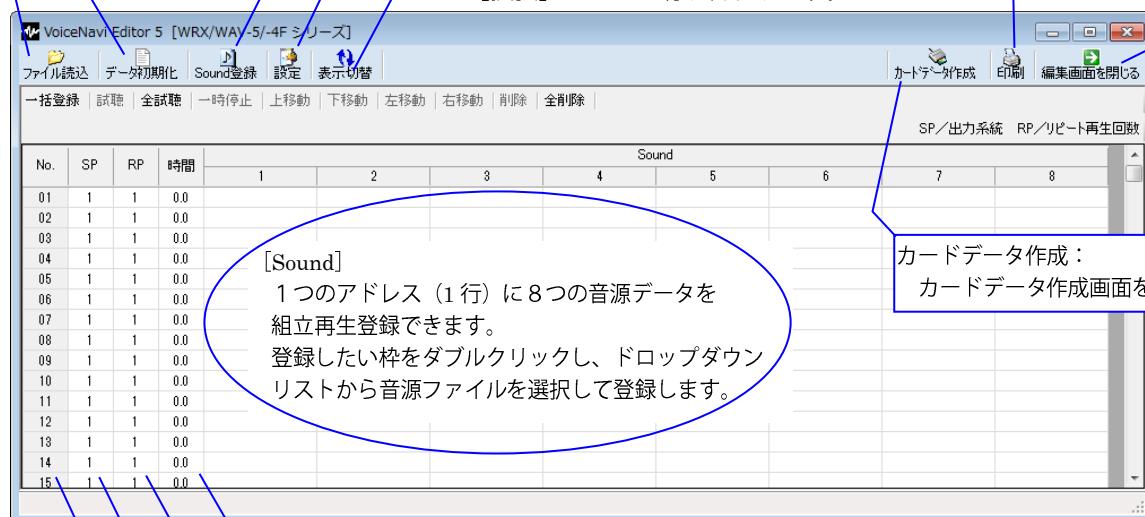
表示切替：

データ編集画面の【基本】と【拡張】モードが切り替わります。

印刷：

印刷画面を開きます。

編集画面を閉じる：
VoiceNavi Editor を終了します。



カードデータ作成：
カードデータ作成画面を開きます。

時間：組立再生×リピート再生の総再生時間を表示します。(自動表示)

RP : リピート再生回数を指定します。(1~9回、初期値1回)

SP : 出力先スピーカーを指定します。(未サポート機能、初期値1のままとして下さい)

No. アドレス番号(接点番号、またはCH番号と呼びます。)

通常の接点再生モードの場合接点番号となります。

バイナリ制御・シリアル制御の場合はCH番号となります。

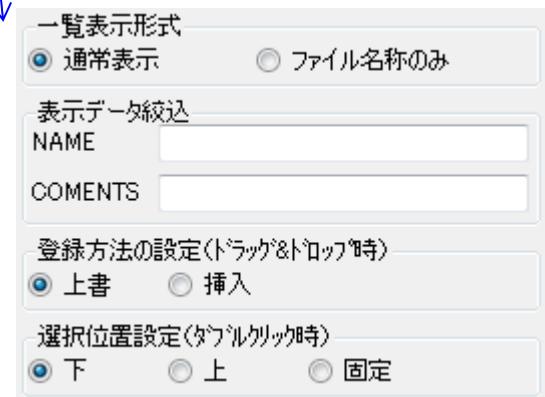
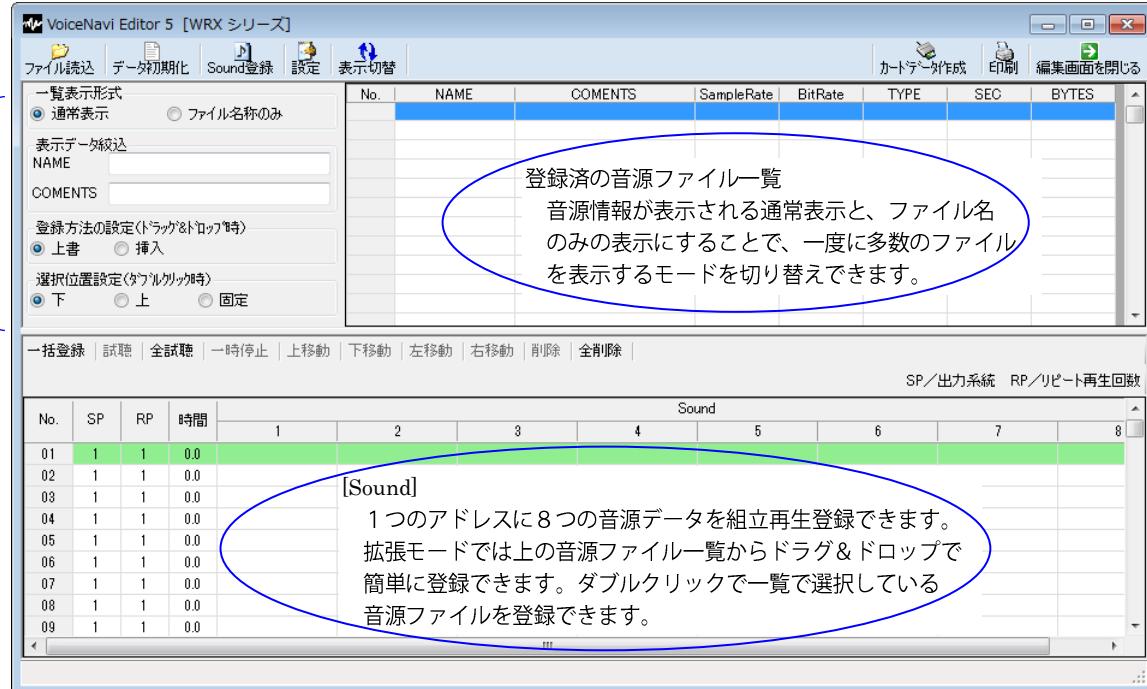
1000CH対応機種の場合は250CH×4ページのように切り替えタブが表示されます。

1~250				251~500				501~750				751~1000															
一括登録 試聴 全試聴 一時停止 上移動 下移動 左移動 右移動 削除 全削除																											
No.	SP	RP	時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12												
01	1	1	0.0																								

データ編集画面【拡張モード】

データ編集画面で「表示切替」を操作すると拡張モードのデータ編集画面に切り替わります。

大量の音源ファイルがある場合、絞り込み機能などで基本モードに比べて登録作業が簡単にできます。



通常表示：各音源データの詳細が表示されます。

ファイル名称のみ：ファイル名のみ表示するため、一度に
多数の音源データを一覧表示できます。

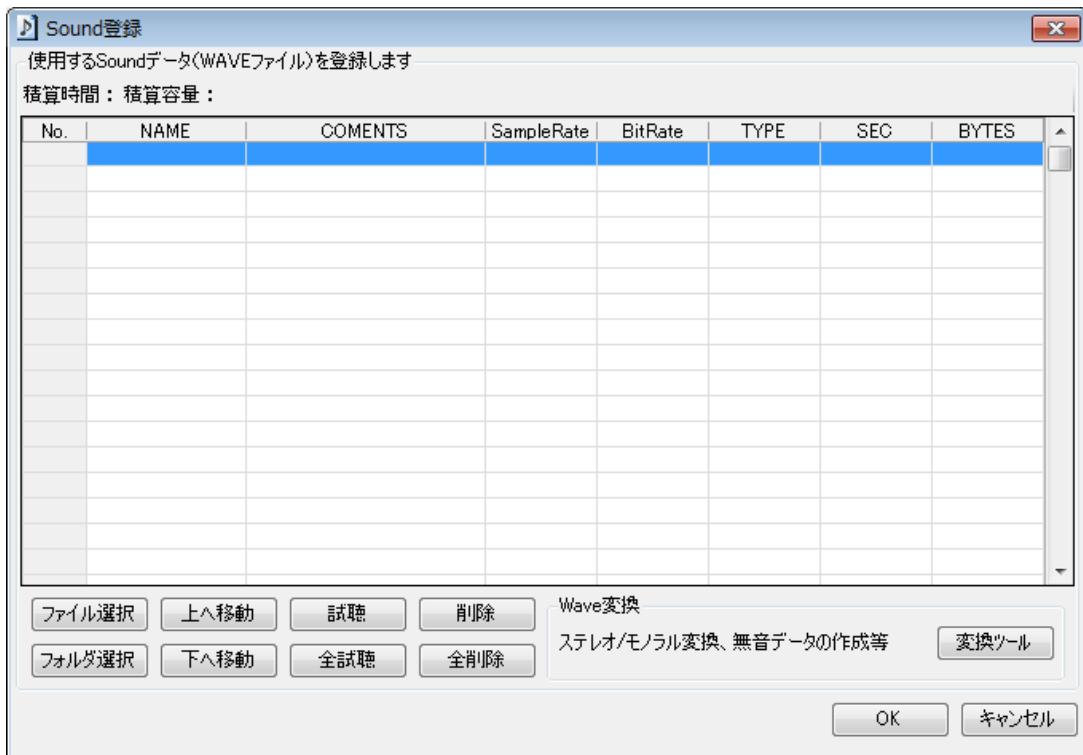
} 大量の音源データがある場合、ファイル名の一部や
Sound 登録で付与したコメントの一部で絞り込みできます。

ドラッグ&ドロップで登録する際の動作を選択します。

音源ファイル一覧上でダブルクリックによる登録操作後に
次に登録する移動先を選択します。

Sound 登録画面

事前に用意しておいた音源データファイルを登録します。 当画面で音源データを登録しておかないとデータ登録できません。 新規にデータを作成する場合は最初に Sound 登録を行う必要があります。 過去に作成したデータを編集する場合で音源データに変更が無い場合はデータ編集作業を開始できます。 ここに登録されている音源ファイルはカードデーター式出力フォルダに出力されます。 不要な音源データは登録削除しておくことで記録メディアの使用領域を節約できます。



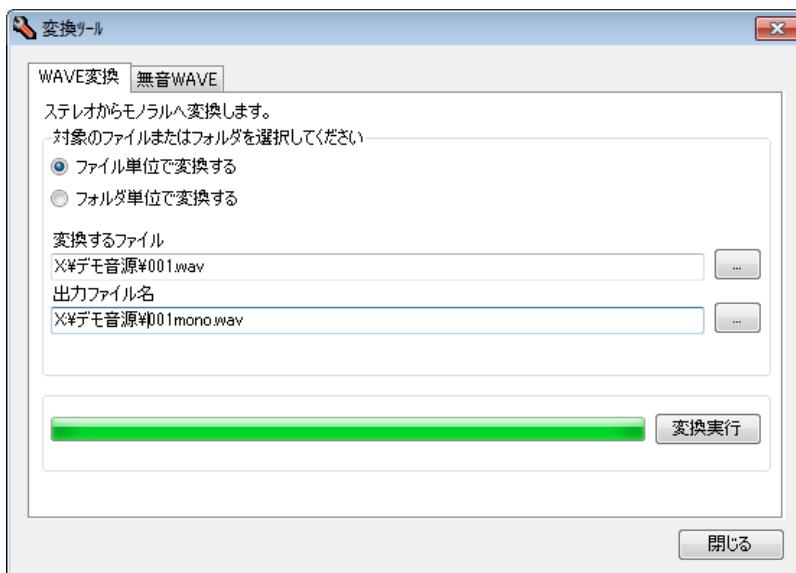
ボタン	動作
ファイル選択	ファイル選択画面を開きます。 音源データを個別選択して登録します。
フォルダ選択	フォルダ指定画面を開きます。 指定されたフォルダ内の選択機種に適合する音源データを一括登録します。
上へ移動・下へ移動	一覧表で選択中の音源データを上下に移動できます。
試聴	一覧表で選択中の音源データを PC 上で試聴できます。
全試聴	一覧表に登録されている音源データ全てを PC 上で順次試聴できます。
削除	一覧表で選択中の音源データの登録を削除します。
全削除	一覧表に登録されている音源データ全てを削除します。
変換ツール	変換ツール画面を開きます。 ステレオ WAVE ファイルをモノラルに変換したり無音の WAVE ファイルを作成します。
OK	当画面での音源ファイル登録データを保存してデータ編集画面に戻ります。
キャンセル	当画面での作業を破棄してデータ編集画面に戻ります。

変換ツール画面

WAVE ステレオ→モノラル変換

VoiceNavi 製品はステレオの WAVE ファイルには対応していません。

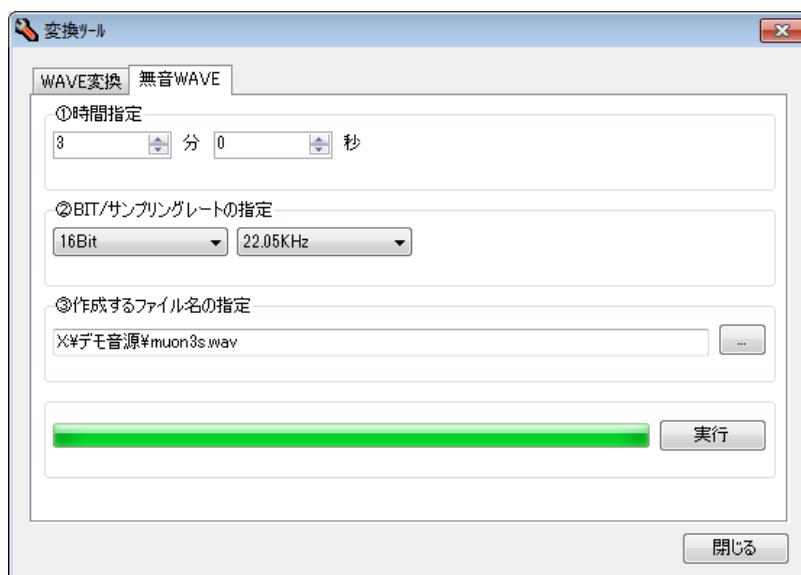
事前に準備した WAVE ファイルがステレオの場合は本変換ツールにてモノラルに変更してご利用ください。



MP3 再生対応機種は MP3 ステレオの Lch のみ再生に対応していますが、WAV ファイルはモノラルのみ対応です。

無音 WAVE ファイル作成

システムに VoiceNavi 製品を組み込む際に、音源データの再生前や再生後に無音を挿入したいケースがあります。その場合は無音 WAVE ファイル作成機能にて無音データを作成してご利用ください。



再生前に無音挿入するケース：無線機や外部アンプの立ち上がりに時間が掛かるため先頭が切れる

→ 2 秒の無音データを音源データの前に組立登録

再生後に無音挿入するケース：繰り返し再生時に 5 分間のインターバルを設けたい。

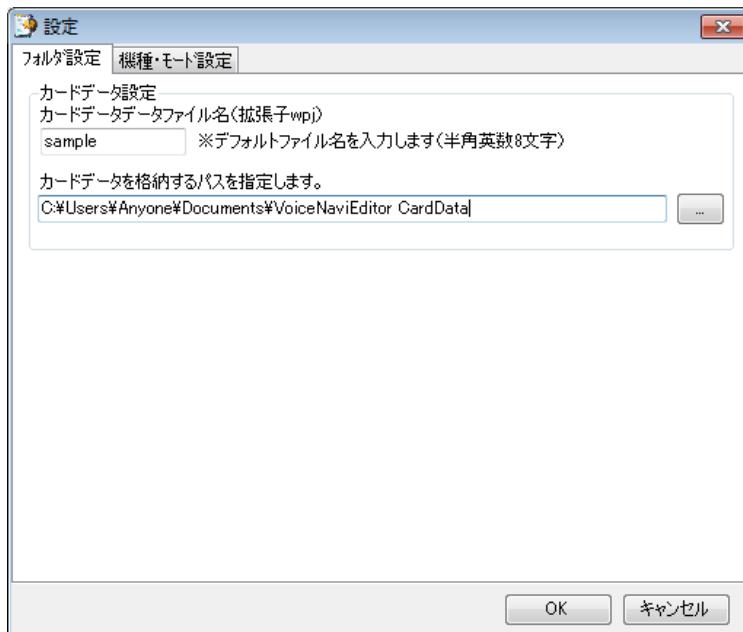
→ 5 分の無音データを音源データの後に組立登録

設定画面

フォルダ設定

カードデータ作成時に、カードデーター式を出力するフォルダ作成場所を変更できます。

インストール後の初期設定では「マイドキュメント」フォルダの「VoiceNaviEditor CardData」フォルダが選択されています。

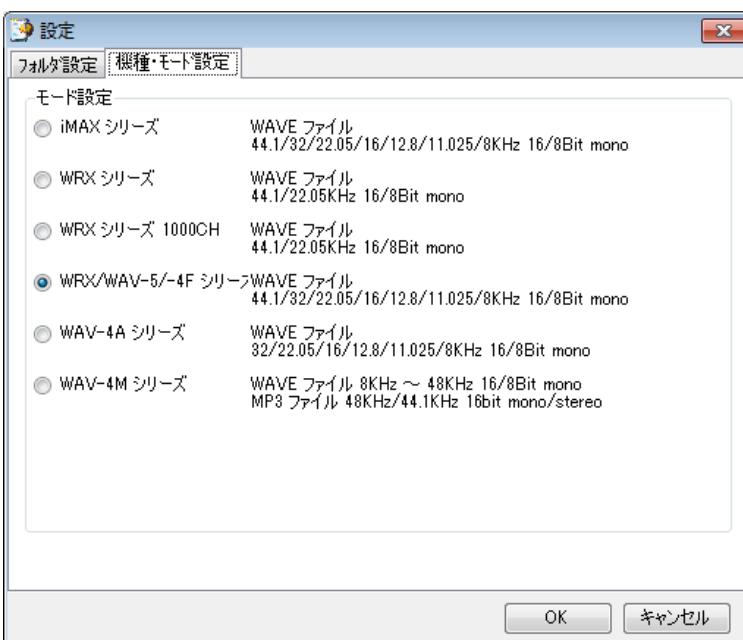


カードデータ作成時にエラーが出る場合、フォルダ設定が正しくない場合があります。

機種・モード設定

VoiceNavi Editor 起動時に機種を選択しますが、起動後に機種を変更したい場合は、本画面で変更できます。

それまでの作業データは破棄されるので、必要な場合は保存してから機種変更してください。

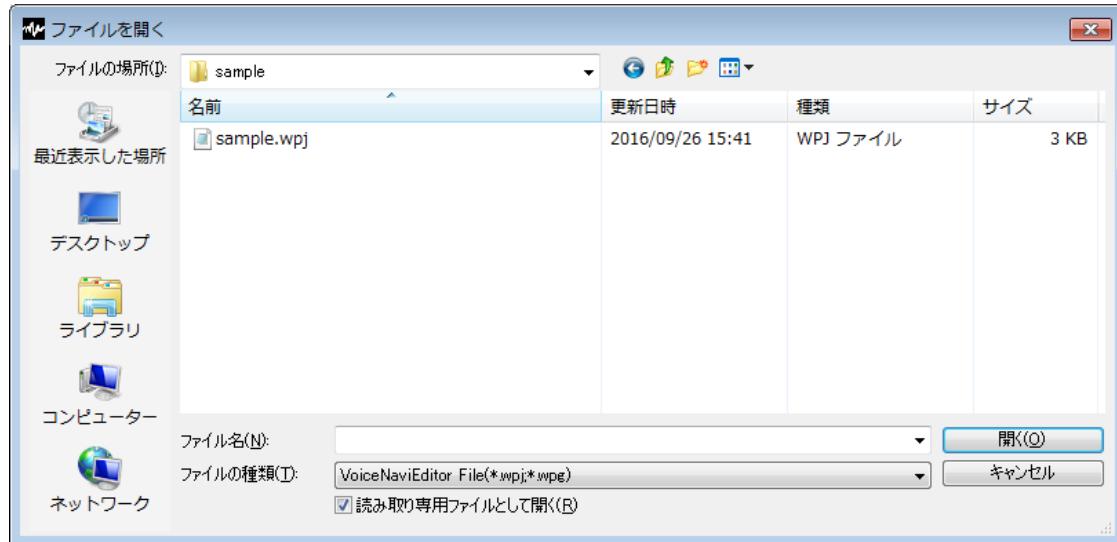


ファイル読込画面

過去に作成したカードデーター式を読み出して再編集することができます。(WPJ ファイル+音源ファイル)

一時保存したデーター式を読み出して編集することができます。(WPG ファイル+音源ファイル)

(iMAX-F シリーズでは IMX ファイル+音源ファイル、または WPJ ファイル+音源ファイルとなります。)

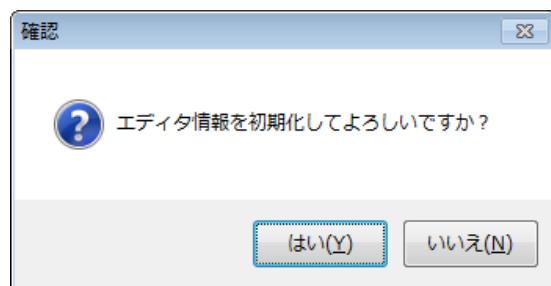


※WPJ ファイル・WPG ファイルのみでは読み込みエラーが発生します。 Sound 登録された音源ファイルも必要です。

データ初期化画面

編集中のデータを破棄して、全く新規にデータを作成したい場合に操作します。

過去に作成したデータを読み出して編集を始めたが、編集を破棄して元のデータとする場合などに使用します。



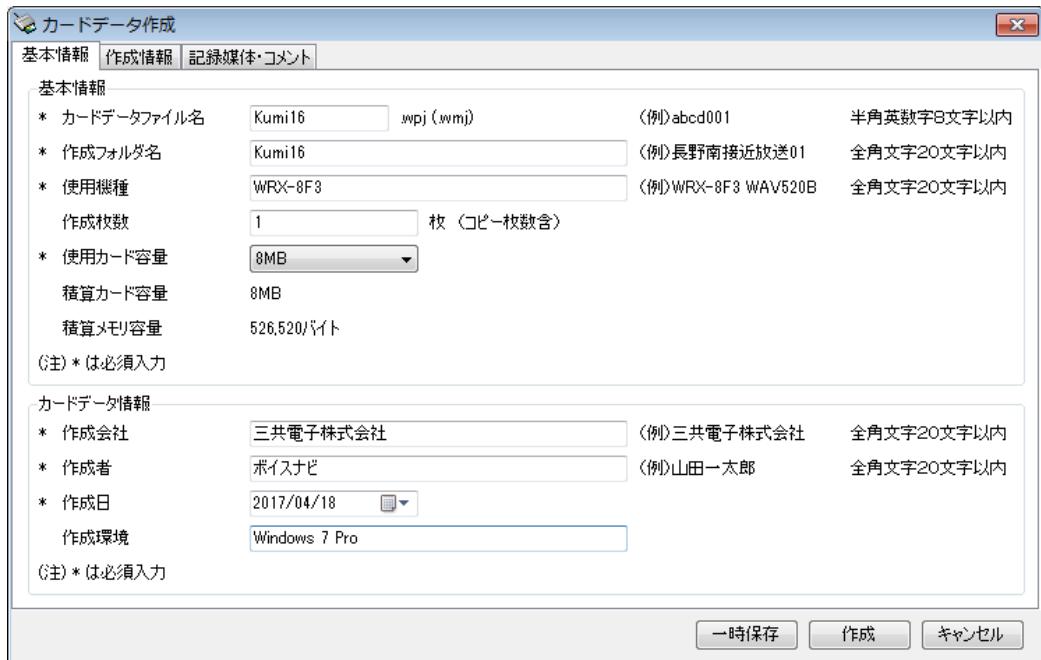
Sound 登録情報・組立再生登録情報とも
何も登録されていない状態になります。

編集中データが必要な場合は保存してから実行してください。

カードデータ作成画面

Sound 登録・組立再生登録したデータを VoiceNavi 製品が認識する WPJ ファイルとして生成出力します。本画面で入力する各種情報は WPJ ファイル (IMX ファイル) に記録され、ファイル読込で過去に作成したデータを読み込むと本画面に表示されます。作成時の各種情報を後から参照できます。できるだけ詳細に入力しておくことでデータ作成トラブル時の早期解消のヒントとなる場合があります。

基本情報



*が付いている項目は入力必須です。

カードデータファイル名は WPJ ファイルのファイル名となります。(半角英数文字 8 文字以内)

作成フォルダ名は設定画面で選択したカードデータ出力先に生成するフォルダ名となります。

※カードデータファイル名と作成フォルダ名は重要なので注意して入力してください。

ボタン	動作
作成	カードデーター式を生成出力します。 指定されたフォルダが既に存在する場合は確認メッセージが表示されます。
一時保存	編集中データー式の一次保存ができます。ファイル読込で読み込んで編集再開できます。 一時保存する WPG ファイル名を指定して保存してください。 WPJ ファイル : VoiceNavi 製品で認識するファイル WPG ファイル : VoiceNavi Editor で一時保存するファイル

作成情報

録音スタジオの情報、WAVE ファイル編集者情報の情報を入力して WPJ ファイルに記録することができます。

記録媒体・コメント

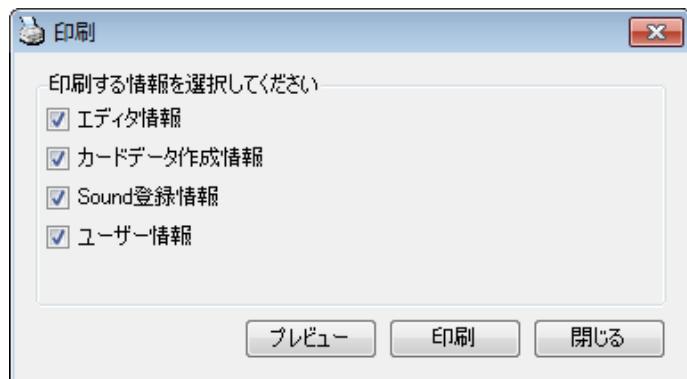
マスター音源データの情報やコメントを入力して WPJ ファイルに記録することができます。

印刷画面

VoiceNavi Editor での編集データを印刷することができます。

印刷先のプリンターは Windows®で「通常使うプリンター」として選択されているプリンターに出力されます。

印刷データ選択画面



印刷したいデータにチェックを付けて「印刷」ボタンで印刷が開始されます。

印刷プレビュー画面

印刷データ選択画面で「プレビュー」を押すと印刷プレビューが表示され、印刷内容を PC 画面上で確認できます。

The screenshot shows the 'Print Preview' window for 'VoiceNavi Editor'. The title bar says '印刷プレビュー'. The main area displays a table titled 'エディタ情報' (Editor Information) with the path 'C:\Users\ボイスナビTEC\Documents\VoiceNaviEditor CardData\Kumi16\Kumi16.wpj'. The table has columns: No., SP, RP, TIME, and SOUND. The SOUND column is highlighted in blue. The data shows various card entries with their corresponding wave files.

No.	SP	RP	TIME	SOUND
1	1	1	1.4	0001.wav
2	1	2	2.4	0002.wav
3	1	1	2.7	0003.wav
4	1	3	12.3	0004.wav
5	1	9	11.7	0005.wav
6	1	1	1.5	0006.wav
7	1	1	1.4	0007.wav
8	1	1	1.4	0008.wav
9	1	1	1.4	0009.wav
10	1	1	1.4	0010.wav
11	1	1	1.7	0011.wav
12	1	1	1.6	0012.wav
13	1	1	1.7	0013.wav
14	1	1	1.7	0014.wav
15	1	1	1.6	0015.wav
16	1	1	1.8	0016.wav
17	1	1	0.0	
18	1	1	0.0	
19	1	1	0.0	
20	1	1	0.0	
21	1	1	0.0	
22	1	1	0.0	
23	1	1	0.0	
24	1	1	0.0	
25	1	1	0.0	
26	1	1	0.0	
27	1	1	0.0	

プレビュー画面左上の「プリンター」アイコンをクリックするとプリンターへ印刷出力されます。

プレビュー画面右上のページ欄でプレビューするページを切り替えられます。

エディタ情報（組立再生登録データ）の印刷では未登録の CH を含む全ての CH データが出力されるため、不要なページも印刷されます。通常使うプリンターを Adobe PDF 等に設定すると一旦 PDF ファイルとして出力できます。出力された PDF を開き必要なページを指定してプリンターに印刷することで不要ページの印刷を節約できます。

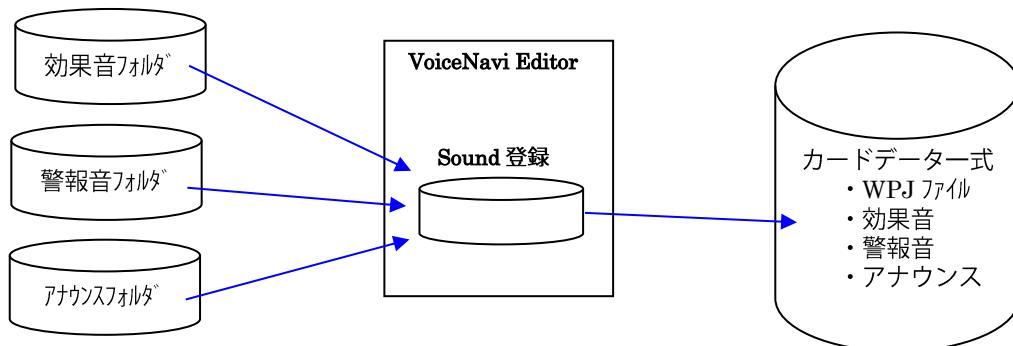
フォルダとファイルについて

VoiceNavi Editor では音源データファイル（WAV 形式・MP3 形式）を登録し、組立再生（紐づけ）情報を登録すると VoiceNavi の音声ボード・音声ユニットが認識する WPJ ファイルを生成出力します。

音源データファイルの元フォルダ

Sound 登録する音源データファイルは、複数のフォルダに保存されていても登録できます。

音源の分類ごとのフォルダに格納しておくことで効果音などの使い回しするデータの管理が容易になります。



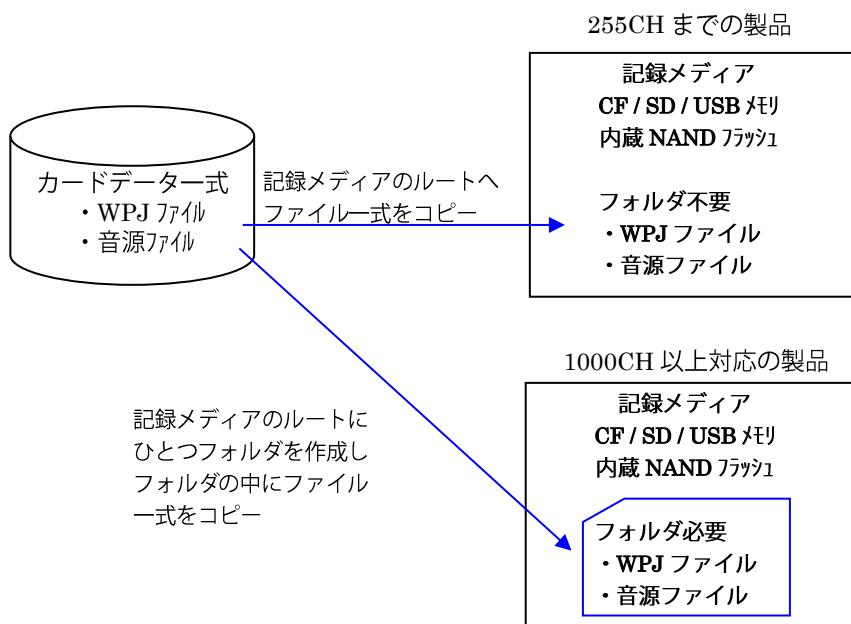
データ作成により出力されるカードデーター式は指定された一つのフォルダに全て出力されます。

出力されたフォルダを案件ごとに保管しておくことで、案件管理が容易に可能です。

記憶メディアへのコピー

VoiceNavi Editor が出力するカードデーター式を VoiceNavi 製品で使用する記憶メディアにコピーして使用します。

このとき 1000CH 対応製品と 255CH までの対応製品とでコピー方法が異なるので注意してください。



※FAT(FAT16)の仕様で、記録メディアのルートに最大 512 ファイルまでしか保存できることによります。

フォルダ名は見ておらず最初に見つかったフォルダが使用されます。複数フォルダがある場合、どのデータが再生されるのか PC でフォルダを見ても判断できません。複数フォルダを残しておきたい場合は使用しないフォルダの属性を隠しフォルダにすることで再生対象から除外することができます。

音源データの作成について

本ソフトには音源データ(WAV ファイル・MP3 ファイル)を録音したり編集したりする機能はありません。

アナウンサーによる録音や、ご自分で録音したり、音源データを購入したり、事前にご用意いただく必要があります。

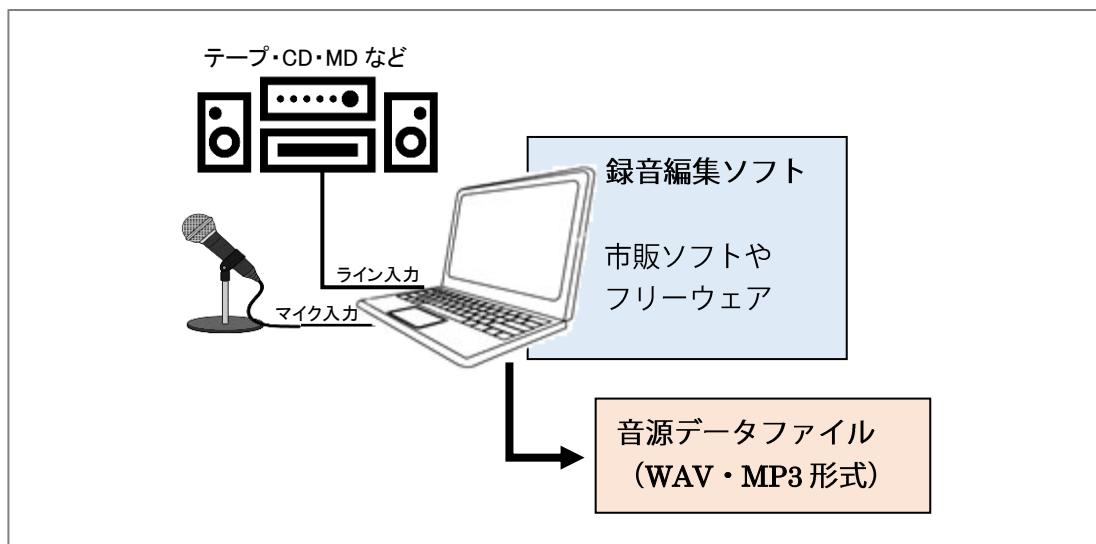
テキストを音声合成で読み上げるソフトやサービスもあります。

TV やラジオからの録音、市販 CD からの録音などは著作者の承諾を得て使用してください。テキスト音声合成ソフトやサービスは生成された音声を利用可能か、ソフトやサービスの提供元に確認した上で使用してください。

弊社ではお客様が使用した音源データが著作権法などの法律に違反して著作者との間でトラブルが発生しても一切関知いたしません。

PC による録音

パソコンにマイクやオーディオ機器を接続して、市販やフリーウェアなどをを利用してご自分で録音することも可能です。



※録音編集ソフトによっては TAG 情報を音源データファイルに付加して出力するものがあり、

TAG 情報が付加されていると VoiceNavi 製品で正しく再生できない場合があります。

TAG 情報は付加しないようにソフトを設定してください。

VoiceNavi 製品で正しく再生されない場合、録音編集ソフトで TAG 情報を削除すると再生できるようになる場合があります。

アナウンサー録音

プロアナウンサーによるスタジオでの高品位録音を請け負っております。

ご注文に応じて感情を込めた録音が可能で、音声合成では真似のできない聞き取りやすいアナウンスを作成できます。

専属契約により低価格・短納期に対応しておりますのでご相談ください。(日本語・英語・中国語・韓国語・他)

お客様の依頼で録音するため著作権の心配がありません。

改版履歴

01 版	2019.05.07	新規作成 (VoiceNavi Editor 3 用からリニューアル作成)

VoiceNavi 三共電子株式会社

〒389-1102 長野県長野市豊野町大倉 3500-17

TEL 026-257-6210

FAX 026-217-2893

VoiceNavi ボイスナビ



ボイスナビの音声録再ボード・音声ユニットで
全てのモノに音声を

身近な「音声」で暮らしの安心・便利をサポートします



三共電子株式会社 026-257-6210 info@voicenavi.co.jp

